

令和4年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）を開催しました

救急企画室

1. はじめに

令和5年1月27日(金)に、消防庁と厚生労働省の共催により、「令和4年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)」を開催しました。

今年は、同時期に開催された「第31回全国救急隊員シンポジウム」と同様、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえて、3年ぶりの現地会場での対面開催と、WEB配信との併用形式で開催しました。

「全国メディカルコントロール協議会連絡会」は、全国のメディカルコントロール協議会に関する機関（救急医療に関する学会、団体、消防機関及び医療機関等）がメディカルコントロール体制に関する課題を整理するとともに、各地域のメディカルコントロール協議会の活動等から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として行っているもので、平成19年度の初開催以来、今年度で16年目となります。



横田会長による開会のご挨拶

2. 我々の地域のメディカルコントロール取組事例発表

第1部の「我々の地域のメディカルコントロール取組事例発表“各地域における指導救命士制度の充実に向けた取組事例”」では、各地域で取り組んでいる好事例について事前に募集し、応募のあった7団体に発表していただきました。

発表いただいた団体は、兵庫県メディカルコントロール協議会（兵庫県）、三重県救急搬送・医療連携協議会（三重県）、広島県メディカルコントロール協議会（広島県）、広島県尾三圏域メディカルコントロール協議会（広島県）、広島県福山・府中圏域メディカルコントロール協議会（広島県）、筑豊地域救急業務メディカルコントロール協議会（福岡県）及び大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会（大阪府）の皆様です。

世話人による審査及び聴講者によるオンライン投票が行われた結果、大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会の「指導救命士が地域の病院前救護体制を改善し続ける～泉州MC指導救命士主導病院前救護活動検討小委員会の活動～」が最優秀活躍賞を受賞しました。



最優秀活躍賞を受賞された大阪府泉州メディカルコントロール協議会

3. 講演

第2部では、はじめに帝京大学医学部附属病院長の坂本哲也先生を座長に迎え、神戸市立医療センター中央市民病院参事・脳血管治療研究部部長の坂井信幸先生に「救急活動におけるLVOスケールの標準化に向けた研究結果」について御講演いただきました。LVOスケール（主幹動脈閉塞予測スケール）については、「令和4年度救急業務のあり方検討会」において検討が行われており、救急活動における脳卒中が疑われる場合の観察項目の標準化が進めば、各地域の搬送システムの改善に有用であることへの理解を深めました。

次に、三重大学医学部附属病院救急救命・総合集中治療センター長の今井寛先生を座長に迎え、北九州市立八幡病院参与・名誉院長の伊藤重彦先生に「在宅医療及び医療・介護連携におけるACP、DNRの現状と今後について」を御講演いただきました。ACPとDNRについて、近年、救急隊の心肺蘇生を望まない傷病者への対応について、多くの消防本部で課題があると認識されています。今後、消防機関と医療機関、在宅医療や介護等の連携がより重要になることを改めて認識しました。



第2部講演の今井寛座長と伊藤重彦先生

4. おわりに

今回の連絡会は、現地参加とWEB視聴を合わせて、全国各地の約800名の方々にご聴講いただきました。事前準備や施設提供などで多大なご尽力をいただいた、広島市消防局や救急振興財団の皆様をはじめとする全国救急隊員シンポジウム主催事務局の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

令和5年度の「全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)」は、令和5年7月27日(木)に帝京大学板橋キャンパスで開催される予定です。

今後もメディカルコントロール体制に関する情報共有及び提言の場として充実した会となるよう努めてまいりますので、多くの方にご参加いただきますようお願いいたします。



第1部発表の広島県MC協議会

問合せ先

消防庁救急企画室 救急推進係
TEL: 03-5253-7529